

平成30年度公立高等学校入学者選抜の実施状況について（概要）

1 出願者の概要（報告書1ページ参照）

項目 \ 年度	30年度	29年度	28年度
中学校卒業者数 (人)	44,746 (-822)	45,568 (+154)	45,414 (-472)
出願者総数 (人)	35,582 (-1,187)	36,769 (-158)	36,927 (-553)
第2次募集による合格者を含む合格者数(人)	31,241 (-1,217)	32,458 (-135)	32,593 (-557)
募集人員 (人)	36,030 (-880)	36,910 (-80)	36,990 (-560)
定員充足率	86.7%	87.9%	88.1%

注1 定員充足率(%) = 合格者数 ÷ 募集人員 × 100

注2 ()は前年度対比増減

2 出願者の状況

(1) 一般入学者選抜の実施状況（報告書2ページ参照）

項目 \ 年度	全日制			定時制		
	30年度	29年度	28年度	30年度	29年度	28年度
定員 (人)	33,940 (-880)	34,820 (-40)	34,860 (-480)	2,090 (±0)	2,090 (-40)	2,130 (-80)
第1次受検者総数 (人)	33,305 (-1,190)	34,495 (-128)	34,623 (-555)	981 (+39)	942 (-14)	956 (-19)
倍率	0.98 (-0.01)	0.99 (±0.00)	0.99 (-0.01)	0.47 (+0.02)	0.45 (±0.00)	0.45 (+0.01)
第1次合格者総数 (人)	29,845 (-1,287)	31,132 (-184)	31,316 (-430)	914 (+51)	863 (+15)	848 (-79)

注 ()は前年度対比増減

(2) 推薦入学者選抜の実施状況（報告書5ページ参照）

項目 \ 年度	30年度	29年度	28年度
受検者数（人）	4,360 (-180)	4,540 (-354)	4,894 (+162)
合格者数（人）	3,757 (-261)	4,018 (-164)	4,182 (+4)

注（ ）は前年度対比増減

3 学力検査結果の概要（報告書7ページ参照）

(1) 合格者の総合成績（300点満点）

項目 \ 年度	30年度		29年度	
	標準問題 選択者	学校裁量 問題選択者	標準問題 選択者	学校裁量 問題選択者
全日制合格者の 平均点	136.9 (-16.5)	186.8 (-9.6)	153.4 (+1.2)	196.4 (-5.7)

注（ ）は前年度対比増減

(2) 合格者の教科別平均点（各教科60点満点）

項目 \ 年度	30年度		29年度	
	標準問題 選択者	学校裁量 問題選択者	標準問題 選択者	学校裁量 問題選択者
国語	31.7 (-3.7)	36.7 (-3.4)	35.4 (+3.4)	40.1 (+4.1)
数学	29.2 (-3.3)	31.5 (-1.9)	32.5 (+0.9)	33.4 (-2.4)
英語	30.1 (-4.5)	40.7 (+1.8)	34.6 (+0.8)	38.9 (+0.7)
社会	35.8 (-1.3)		37.1 (+1.7)	
理科	22.3 (-3.7)		26.0 (-6.8)	

注（ ）は前年度対比増減

4 学力検査問題等研究協議会における主な意見について（報告書23ページ参照）

○ 学力検査問題について

[国語] 領域のバランスを意識した出題について、引き続き工夫してほしい。

[数学] 基礎的・基本的な知識や技能を活用して、判断したり、考察したことを表現したりする問題の出題について、一層充実させるよう検討してほしい。

[社会] 資料等を活用し思考力・判断力・表現力等を問う融合問題や、今日的な課題に関する問題の出題を継続してほしい。

[理科] 日常生活や社会との関連を意識した出題を継続するとともに、難易度の異なる問題をバランスよく出題してほしい。

[英語] 英語で自分の考えを表現する出題について、一層充実させるよう検討してほしい。

[学校裁量問題] 3教科とも、受検生の力を測る上で適切な問題構成となっており、良問であった。引き続き、思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題してほしい。

5 学力検査問題領域別正答率（報告書32、33ページ参照）

[国語]

指 導 領 域	共 通 問 題	標 準 問 題	学校裁量問題
話すこと・聞くこと	44.8%	—	—
書くこと	10.0%	—	11.6%
読むこと	55.1%	59.3%	33.3%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	50.7%	65.3%	70.1%

[数学]

指 導 領 域	共 通 問 題	標 準 問 題	学校裁量問題
数と式	63.2%	85.0%	10.0%
図形	40.0%	49.0%	25.6%
関数	41.0%	52.3%	12.7%
資料の活用	47.5%	—	—

[社会]

指 導 領 域	共 通 問 題	
地理的分野	68.1%	
歴史的分野	古代まで、中世、近世	58.1%
	近代、現代	63.6%
公民的分野	51.6%	

[理科]

指 導 領 域	共 通 問 題
エネルギー（物理的領域）	34.1%
粒子（化学的領域）	36.5%
生命（生物的領域）	56.2%
地球（地学的領域）	47.2%

※ 理科の指導領域は、中学校学習指導要領解説理科編において、科学の基本的な見方や概念の柱として示された「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」に即して分類した。

[英語]

指 導 領 域	共 通 問 題	標 準 問 題	学校裁量問題
聞くこと	62.8%	—	—
話すこと	—	—	—
読むこと	50.8%	78.6%	28.5%
書くこと	33.0%	58.6%	23.6%